

どうぞ、入ってください

では、所属クラスと出席番号と名前を

高等部の……はい、はい……なるほど  
約束の時間から五分の遅刻ですか

初回ですので警告だけにしておきますが  
次回からは罰を与えますので、注意してくださいね

ああ、申し遅れました  
私、射精管理委員の水無瀬と申します  
中等部の一年A組に所属しています。

担当委員として責任をもって、先輩の射精を管理しますので  
これからよろしく願いたします

ここに呼び出された理由はもう、おわかりですよ？  
先日の検査で、結果が出たんです

あなたが欲望にまみれた下等なオスで  
優秀な女子生徒たちに危害を与える可能性がある……と

そんな男子生徒を指導、更生するために組織されたのが  
我々、射精管理委員です

期間中、射精の権限はすべて私に委ねられます  
あなたが女性生徒よりも立場が下であることを理解し、  
性欲をコントロールできる無害なオスになった……と  
委員会が判断するまでの間、ずっとです

私の許可なしでの射精は厳しい罰則が課せられますので、  
覚えておいてくださいね……わかりましたか？

説明は以上になりますが……何かご質問は？  
まあ……ご理解いただけなくても構いません

先輩にはもう、私の命令に従う以外の選択肢はないのですから

では早速、第一回の指導を実施いたします  
ズボンを下ろして、男性器を出してください

……なにをしているのです？  
早く男性器を取り出してください

頭の悪そうな顔……  
もっとマシンなオスの担当になればよかったのに

ほら、さっさとしてください  
こんなことで罰を喰らいたくはないでしょう？

はあ、最悪……やっぱりハズレかな——えっ

な、なんですか……これ、大きすぎませんか……？  
おちん——だ、男性器のことですっ  
どうして、もう勃起してるんですか？

え、勃起してない……このサイズで？  
そんな……マニュアルには確か、勃起前のサイズは……！  
これで興奮したら、どれだけ大きくなっちゃうの……？

——こほんっ  
は、なんでもありませんっ  
それでは、指導を始めますよ……！

初回の指導では……射精管理開始前の状態を記録します  
特に指示はしないので、  
いつもと同じようにオナニーを行ってください

ただし、制限が一つだけ……勝手な射精は禁止とします

もし射精したくなってしまった場合は、  
男性器をしごくことをやめて、私の指示を仰いでください  
それでは——

——ちょっと、なに勝手にしこしこしてるんです  
まだ許可は出してないですよ？

はあ……まあいいです  
とにかく、無許可での射精は厳禁ですからね

いいですよ……しこしこするの、続けてください

うわ……もう大きくなってきた  
本当にすごい大きさですね、それ

まあ……先輩の男性器のサイズなんて  
私にはどうでもいいことですけど

私はカリキュラムに従って、  
射精管理委員の役目を果たすだけなので  
ええと……

……ん、なんです？『オカズがほしい』？  
『こんな状況じゃ射精できない』？  
わ、私に手伝えって言うのですかっ？

それはできません……今は心の準備が——じゃなくて、  
今日はオナニーで射精してもらわなければならないので……！

ただ……あまり時間を取られるのも迷惑です  
なので——

これなら……どうですか？

んあ、ちゆう、ん……あ、はあ……ちゆう  
ん……れろ、ちゆう、ちゆう……ちゆう、れろ

ふふ……やっぱり、予習した通りです

あ、ん……れろ……ちゆう……んあ  
射精管理委員は事前に特別授業で、学んでいるんです

ん……はあ、あつ……ちゆう……んあ  
ムラムラに弱い下等なオスを支配する方法を……♪

はあ……あ、んあ……ちゆう  
ふふっ、そんなに気持ちいいんですか？

はあ、れろれろ……はあ……  
興奮なんかはしませんけど……気分がいいですね、これ♪

ちゆう、ちゆう……んあ……はあ……れろ、れる  
はあはあ喘いじゃって……  
とっっても見苦しいですよ、今の先輩♪

んあ、れろ……れる、はあ……れろ、ちゆう  
んあ、ちゆう、ん……あ、はあ……んあ  
ちゆう、はあ……ん、あ……はあ、れろお  
ん、はあ……はあ、れろ……あ、ん……れろ

ああ、先に言っておきますけど、  
変な期待はしないでくださいね？  
これはすべて、委員としての義務でやっていることなので——

…れろお♪  
先輩のことは、なんとも思っていないから

んあ……ちゆう、ちゆう、はあ  
そもそも私、性欲というものが……理解できませんし

んう、はあ……ちゆうっ……ちゆう、れる  
あなたのようにあつさり勃起して  
耳を舐められただけではあはあ喘いじゃって……ちゆう、れろお  
猿じゃないんだから……ふふっ

ちゆう、ちゆう……はあ、んあ……ちゆう  
いくら気持ちいいからって  
こんな姿を晒すなんて……私だったら、死んでも嫌ですけど

はあ、れろ……んあ、ちゆう……ちゆう、れる……  
ちゆう、ちゆう……んあ、はあ、んあ……れろ  
ん、あ……はあ……んあ、ちゆう……はあ、ん……  
ちゆう、ちゆう……ん……あ、ちゆう……れろお

ん……どうしました？  
え、もしかして……もう出たくなってしまったんですか？

ちゆう、ちゆう……んあ……ちゆう、ちゆう  
うわ……本当にクソ雑魚なんですね……先輩のそれ

ずず……はあ、れろ……はあ……  
まあ、別に構いませんよ  
必要なデータはとれましたし……許可してあげます

ん、ちゆう、ちゆう……んあ……はあ  
それとも……もっと強い言葉で  
命令してあげた方がいいですか？

はあ……んあ、ちゅう……  
『イケ』とか『射精しろ』とか、  
そういう言葉がほしいんですね？

はあ、ん……ちゅう、ちゅ  
射精管理されるということは、  
気持ちよくなる権利をすべて、私に支配される……  
ということなんですよ？

ちゅ、ちゅう……はあ、んあ……はあ  
ガマンするのも……射精するのも  
すべて私の命令に従わなくちゃダメなんです

はあっ……れる、れる……ちゅう  
だから……こんな風に命令されたら——

ほら……イケ。射精しろ  
ほらほら……精子でる、射精する、どぴゅどぴゅしちゃう  
イッてください……イケ♪イケイケイケ

ふふっ……あははっ  
出た出た、精子びゅるびゅる吐き出してる♪

情けない顔ですね……そんなに気持ちいいんですか？

しこしこ続けていいんですよ？  
気持ちいいの収まるまで、全部出し切るまで  
しこしこしてください？ほら……ほらあっ

……全部、出し切りましたか？

そうですか……では、今日の指導はこれで終了です  
次の指導は三日後……同じ時間にまた、この教室へ来ててください

当然ですがそれまでの間、射精は禁止ですよ

頭の悪いあなたのために言っておきますが  
こっそり射精しても  
出した時の精子の濃さですぐにバレますから  
ズルはしないでくださいね？……わかりましたか？

……どうぞ

その椅子に座って、男性器を出してください  
どうせもう、射精したくて仕方なくなってるんでしょう？

今日の指導では私の手で、男性器を愛撫していきます

先日のオナニーよりも強い快感が  
男性器を襲うと思いますが……

私の命令に従って、射精をこらえてください

これは性欲をコントロールする力を身につけるための――

トレーニングなので……いっぱい、いっぱい苦しんで  
射精ガマンしてくださいね？

もちろん……こっちも一緒に――れろお  
ん、ちゅ……はあ、れろ……んあ……ちゅ

刺激しますけど……  
ちゅ、はあ……ちゅう、ちゅ、れろ

あなたは今、射精する権利を奪われているので、  
いくら気持ちよくなれても、射精はガマン……ガマンですよ？

ん……あ、ん……れろ、はあ……んあ……  
はあ、れろ……はあ……はあ、れろ……んあ  
ん……ちゅ、ちゅう……はあ、んあ、ちゅ……んあ  
ちゅう、ん……あ、はあ……れろ、ちゅ

相変わらず、ものすごい大きさですね……あなたのこれ

れろ、んあ……はあっ……あ、んあ……ちゅ  
もうがちがちじゃないですか……ほんとみつともない

ちゅう……ちゅう……れろ、れろお  
しかも顔がだら一んってして、  
情けない表情になっちゃって……

ちゅ、んう、ん……はあ……ちゅう  
これ、大丈夫ですか？  
しこしこを速めたら……あーほら、どんどん固くなってきてる

はあ……れろ……ん、はあ……ちゅ  
そんなにいいんですか？

ちゅ、ちゅう……ん、ああっ……  
男性器を……おちんぼを  
中等部の女の子のちっちゃくてぶにぶの手に包み込まれて……

れろ、れろ……ちゅ、れろ……  
おちんぼの先っぽからびゅくびゅく溢れてる先走り汁を  
ローションみたいに絡ませながら……  
ぐっちゅ、ぐっちゅ、って♪

ちゅ、はあ……ん、あ……  
しごかれるの……気持ちいいんですか？

んあ、ちゅう、ん……あ、ちゅ……れろ、んう……  
はあ、ん……ちゅ、ちゅう……ちゅ  
ちゅ、ちゅう……はあ、んあ……んあ  
ちゅ、んあ……はあ、れろ……れる……ん、れる

あ～速くなる……しこしこ速くなっちゃう

はあ、れろ……ん、はあ……  
おちんぼが負けたがってる……でもダメ

はあ、れろ……あ、ん……れろ……  
射精管理されちゃってるから、許可をもらえるまで待たないと

はあ、れろ……んああ、ちゅう  
ガマン……ガマン、ガマン  
おちんぼが感じちゃっても……お耳が気持ちよくても

ちゅ、れる……ちゅ、ちゅ……  
射精は禁止……ガマンしてください？

んあ、はあ、んあ……はあ、んう  
もし射精しちゃったら、もっとキツイ射精管理が待ってますよ？

ちゅ、ちゅう……んう、はあ……んあ……  
ちゅう、ん……れろ、ちゅう……れる、れろ  
ちゅ、ん……あ、ちゅ……はあ、んあ……ん……  
はあ、ちゅ……ちゅ……んあ、はあ、んあ

うわ……もうおちんぼ、パンツパンになってる……  
気持ちよさそう

れろ……ちゅう、はあ……ちゅ  
そろそろ許可、してあげましょうか？

んあ、ちゅ、れろお……はあ……んう  
だって……おちんぼが苦しそうにビクビクしちゃってますし

ちゅう……れろ、れる……  
あーほら、のぼってきてるの……わかりますよ

ん、はあ……れろ、ちゅ……  
熱くて、どろっどろの精子がおちんぼの根本に集まってきて

れろ、れる、はあ……はあ……ちゅ、ちゅ  
溢れてこないようにぎゅーって抑えてるけど

段々、おちんぼの欲望に押し流されて……あ  
あーいきそう……イク、イクイクイク——あ、あああ～……

はい、ストップ～♪  
ふふ、あはははっ……なっさけない顔～♪

射精させてもらえると思ったんですか？  
期待してたのに、裏切られちゃって切ないですね？ふふっ

許可……ほしい？ほしいんですか？  
はあ、れろ……れろ、あ……ちゅ  
もうイきたいんでしょ？

れろ……れる、はあ……ちゅ  
おちんぼのムラムラと  
『ガマンしなきゃ』って理性がぶつかって……  
頭の中、ぐちゃぐちゃになっちゃいそうなんですよ？

んあ……れろ……ちゅ、れろ……れる  
だったら……おねだり、してください？

ちゅ……れろ……れる、はあ……はあ  
私が許可したくなるように『射精させてください』

『おちんぽで気持ちよくなる許可、くださあい』って♪  
可愛く、無様におねだりするんです……ほら、言って？

ふふ、いいですよ……その調子でもっとおねだりして？

んう……れろ……ちゅう、ちゅ  
お耳舐めてあげますから……繰り返し、何度も何度も  
思いつく限りの言葉で、いっぱいおねだりしてみせて？

はあっ、んあ……ちゅ……んう、はあ  
もっと……もっと言って……おねだりするの

はあ、ちゅ……ん、はあ……ちゅ、れろお  
無様に可愛く、射精するためにプライドを捨てて……

ちゅう……あ、れる……ちゅ、あむ  
自分よりずっと年下の女の子に頭を下げるの♪

はあ、ちゅ……んあ、れろ……れる、ん、はあ……  
はあ、れる……はあ……れろ、ちゅう  
はあ、んう……は、んあ……ちゅ、はあ……  
んあ、ちゅう……ちゅ、ちゅう……ん、れろ

へー……そんなに射精したいんですね……先輩？  
わかりました……それじゃ——

最後に思いっきり追い込んであげますから……  
溜め込んだ精子を全部、  
私の手の中にどびゅどびゅしてください

ん、ちゅ……ん、はあ……はあ、れろ  
ほら、いきますよ？射精許可……だしますよ？  
んあ、はあ……あ、んあ……ちゅ  
私の合図で、精子を全部吐き出すんですからね？

んあ……はあ、ん……ちゅ、ちゅう  
あーほら、いきそう……おちんぽイツちゃう、精子出る♪  
イク、イクイク……あああ～……

……いいですよ、射精してください  
ほら出して？命令ですよ？  
空っぽになるまで全部吐き出すの……ほら、ほらっ♪

あは、出た出た……なんですか、この量  
おへその方まで精子が飛び散って……きゃっ

しかも真っ白で、濃厚で……こんなの中に出されたら  
絶対妊娠しちゃうじゃないですか……

……ふう、やっと収まりましたね  
先輩の精子で手がべっとべとです……

全部吐き出してとは言いましたけど  
こんなに射精するなんて……  
ほんと男って、単純で浅ましい生き物ですね……ふふ

ん？なにをしているんですか？  
もう帰っていただいて構いませんよ？

本日の指導は終わりましたので、  
さっさとおちんぽをしまつて、部屋から出ていってください

私はあなたと違って忙しいんです  
そもそも、あなたのような下等なオスのために使う時間なんて  
私には本来、一秒たりとも――

――きゃっ！？  
ちょっと、なにをするんですっ

やだ、気持ち悪い……離れてください  
こんなこと、先生に知られたらタダじゃ済まないですよ！？

や、触らないでっ……誰かっ、誰かあつ！  
助けてくださ――んむっ！？

んっ、はあちゅ、んあ……ちゅ  
んあ、ちゅ……ん、ちゅ……ちゅっ  
うえ……やめて、きもちわる……んむ、んふあ……

れる……んあ……ちゅう、ちゅ、はあ  
んあ……はあ……あ、んあ……ちゅ  
――はあ、はあっ  
私は、中等部の一年生で唯一  
射精管理委員に選ばれた、優秀な人間なんです……！

将来はあなたのような、頭の悪い男の上に立って  
奴隷のようにこき使う人生が、約束されているんですっ

そんな私を……  
あなたのような、おちんぽの大きさをくらししか  
誇れるところのない、ゴミ生徒なんか――んむっ！？

んあ、はあ……ちゅ、ちゅう……はあ  
はあ……ん、ちゅ、ちゅ……ん、はあ  
ちゅ、ちゅう……はあ、んあ……はあ  
んう、はあ……ちゅっ……ちゅう、れる

離して……離してよ、もおっ！  
ちょっと、どこ触ろうとしてるんですか

やだ、スカートの中は――あ、んお……おお、んおおおっ♡

あ、違います……この声は――お、んおおっ♪  
お、おお……んお、お` おっ♡

違います……気持ちよくなんて、なってない――お♡

んお、お` お……` お、お` お♡  
ぬ……『濡れてる』？そんなわけないです……！

んおっ、おお♡んお` おっ……♡  
あなたのおちんぽをしごいて

私が興奮してたって、言いたいんですか？

んお……おおおっ♡おお……っ♡  
そんなこと、絶対……ありえせんっ……お～、んおっ♪

おお、はあ、お` おっ、おお……♡  
今だって、全然気持ちよくなってるんですけどし  
気持ち悪くて、すぐに止めてほしいくらいで——お♪

——んお、おおおっ！？やだ、激し——お♡

おお、おおおっ♡んおおおっ♡んおっ、` おっ♡  
` おっ、お` お……！お……おお……んおっ♡  
ダメ、待って……このままだと私……お～っ♡

おおっ……ん、お` お……` おっ♡  
い……ツチャイソウ——やだ  
気持ちよくなってるなりたくない、のにいっ♡

んお、お` おっ♡おっ、んおっ♡  
おっ、こんな奴の手で、なんてえ——んおっ♪

おおっ、お` おっ♡んおっ……♡  
おっ……キチャウ、あ……ク、んおおっ  
いく……イク、やだイク……イクイクイクウ——

——え？な、なんでえ……？  
あとちょっとだったのに——んおっ！？

` お、お` お……おっ、おおおっ♡  
まさか先輩……  
さっき私に寸止め手コキされた仕返しをするつもり  
……ですか？

おおっ♡んお、` お……おおっ♡  
本当に、最低な人ですね……あなた

おおおおっ♡おおっ♡んおっ♡  
勝手にすればいいです  
私からおねだりすることなんて、  
絶対にありえせんから……おお♡

お` お、おっ、おお……♡んおおっ♡  
お` おお……んっ、おおっ♡` お、おお♡  
んお、お` おっ♡お` お、おっ、おおおおお♡  
お、お` お……` お、お` お……♡  
んおおっ♡あ` あ……お` お……♡

お……ク、またク、イツチャウ  
お、おおおおっ……イクイク♡んおおおお——

おっ……おお、お～……♪  
無駄ですよ……  
何度でも言いますが、私からはおねだりなんて——お♡

おおっ、お` おっ♡ おっ、お` お……おっ♡  
お` おお……っ♡お、お` お……` お、お` お……♡  
お～イク、イクイクイクう～——

おっ、おっ、おお……  
イきたくなんてない……イきたくなんてえ——んおおっ!?

お～、もうイキそうになってる……やだあ——んお♡  
お` お、おおっ♡んおお、` お♡  
イク、イク——んおおおおおおっ……

あーもおっ! あと少しだったのに……も～っ!!  
ね……ねえ? いつまで続けるつもりですか?  
私、もう……頭、おかしくなっちゃうそうで——お♡

おっ、おっ♡んお～、イキそ♡なんか出そおっ♪  
お～出る出る出る、イク——お♡んお、おおおおお……!

あ～また! あとちょっとでイけるのにい……!  
はあ……はあ、はあ……!

もお……無理い……  
……せて、ください

……だから! イかせてくださいって言うてるのおっ!  
おまんこムラムラしすぎて、おかしくなっちゃいそうなの!

だからイかせてよっ!  
好きなだけおまんこ弄りまくってぐっちゃぐちゃにしてえっ!  
お願いだから——おっ!?

おっ、おっ♡ね、イッていい? イかせてくれるんですか?  
おっ♡おっ、おっ、おおおおっ♡  
もう寸止めしない? おまんこでイッてもいいんですよねっ?

んおっ……お` おっ……♡んおっ♡  
んお、イク……イクイク、もおイクうっ♡  
止めないでくださいね?

お` おおおっ! おおっ、お` おっ♡  
ちゃんとおねだりしたんですから……  
そのままおまんこ、ぐちゅぐちゅ続けてくださいねっ?

おっ、おっ……くる、すっごいのくる、イク……出る♡  
お～イクイクイクイク——お、おおおお、イぐうううっ!!

おっ！おっ、おおお♡出てる、出てる出てる♡  
にやにこれえ、止まんないっ  
お漏らししながらイっちゃってる

こんにゃの知らない♡  
おまんこ溶ける、脳みそ溶けるっ♡  
頭バカになっひゃううっ♡お～、んお、おおおっ！！

はあ、はあ……やっど、止まったああ……

ちょっと、どこに行くん……ですか

許さない……絶対、許しませんよ……先輩のことお♡  
私を辱めたこと、必ず後悔させてあげるんだからあ……おっ♡

……きましたか  
ちゃんとオナニーはガマンしてますよね、先輩？

では早速、指導を開始します  
今日は私のおまんこを使って、おちんぼをしごきますので  
いつも通り、私の合図があるまで射精をガマンしてもらいます

私、ずーっとイライラしてたんですよ……

前回の指導で、私をイかせたからって  
先輩が調子に乗ってたりしたら最悪だなあって

だから今日は私が上で、先輩が下だってことを……  
先輩のおちんぼに、わからせてあげます

というか……先輩はもう、  
私に逆らうことはできないですよ？  
この前、私を襲ったこと……忘れてませんよね？  
今後も黙っていてほしいなら、  
私の言うことには服従してもらいますよ

当然、おまんこを使った射精管理も  
拒否する権利はありません……いいですね？

ちなみに私のおまんこは、一度もえっちしたことのない  
新品のきつきつ処女まんこなので  
生おちんぼを挿れてしごいたら……きっと  
ものすごく気持ちいいと思いますよ？

先輩も、使いたいですよ……私の処女まんこ

襲いかかって、無理やりおまんこを弄っちゃうくらいですし  
先輩は私みたいな、ちっちゃい女の子が大好きなんでしょう？

それでは、始めましょうか……ほら、仰向けになってください

なんだ……もう勃起してるじゃないですか  
ほんっとにスケベなおちんぼですねえ……んっ♡

手コキであんなに感じまくってたんだから、  
生のおまんこに挿れたりなんてしたら……  
絶対、気持ちいいですよ？

ガマンしようなんて考える間もなく  
一瞬で射精してしまうに決まっています

あ、おっきい……全部、入るかなあ……ん♡  
初めてなので……ゆ、ゆっくり……  
挿れていきますね……おっ♡

おおお……おっ♡んおお……あ～待って♡  
なにこれ、思ってたより——んお！？

お` お……おっ♡お` おお……っ♡  
こんなに気持ちいいなんて……どうしよ、私……もうっ  
イっちゃうイっちゃう……お、んおお——イくうっ！！

——はあ、はあ……うそお、挿れただけなのに♡  
おちんぼの先が、子宮のお口に触れただけで  
イカされちゃったあ……♡

こんなはずじゃなかったのに  
キツキツのロリまんこで、しごいてあげれば  
一瞬で敗北射精させられると思ったのにい

とにかく……少し休まないと  
おまんこ、敏感になっちゃってるからあ——んお！？

お` おおっ♡おおおっ、お` おっ♡  
んおおっ、ちょ……待ってえ♡

おお、お` おおっ♡` おっ、おお♡  
今、イッたばかりだからあ……奥はダメ、ダメなのおっ♡

おおっ、お` おっ♡` おっ、お` お……おっ♡  
おっ、おっ、おおおおっ♡` お、おおお……おおっ♡  
おおっ……お` おっ♡おっ、お` お……おっ♡  
おっ、おお……ん、んお……♡お……お` おっ……♡

そんなにされたら私、また……おまんこが、んおおっ♡  
んお、お` お……んおっ……お` お♡  
お～イきそっ♪やだあ、ガマンするのお

お` お……おっ、お` お……おおっ♡  
こんな、おちんぼがデカいだけの下等なオスに  
私のおまんこが負けるわけないん……だからあっ♡

お、んお……♡おお……` おおっ♡  
おっ、でも……あ～ムリ、イク♡もうイっちゃう♪  
やだ、やだやだやだあ——お♡  
イくくうううっ！！

おっ、おっ……んお～っ♡  
ね、先輩？もう、やめて……？

お願い……私が悪かったから、謝るからあ……  
だからおちんぼ抜いて？  
これ以上されたら、  
ほんとにおかしくなっちゃうから——おっ！？

おっ、おっ、お～っ♡このおちんぼ強すぎるう  
勝てない……私のおまんこじゃ、絶対勝てないっ♡

んお、お`お……`お、おおお……♡  
偉い人になって、オスどもをこき使うために  
いっぱい勉強、がんばってきた……のにっ♡

んお、お`お……`お、お`お……♡  
おまんこがムラムラしたら、  
そんなこと全部、どうでもよくなっちゃうってえ♡

んおっ♡お`お、おっ、おお……♡  
最初は、必死に否定してたの  
男なんて、おちんぼでしか物を考えられない  
下等な生き物だからっ♪

んおおっ♡あ`あ……お`お……♡  
そんな人におまんこを好き勝手されて  
悦んじゃったなんて、認められなくて——でもお♡

あ、おおっ……んおっ♡お、お`お♡  
オスに負けるのも、おまんこでイクのも気持ちよすぎてえっ♡

お`おっ♡おお……`おおおっ……♡  
わかっちゃったのっ  
おちんぼの強さがいっちゃん大切なんだって♡

`おおっ……♡おおおっ、お`おっ♡  
私のおまんこは  
先輩の強いおちんぼをしごくためにあるんだって♡  
わからされちゃったのおっ♪

おっ♡お`おお……っ♡んおっ……お`おっ……♡  
んお、お`おっ♡お`おお……んっ、おおっ♡  
お`お、んおっ……お`おっ……♡おお、おおお……っ♡んお、お`おっ♡ お、おおお……おおっ  
♡

先輩、お願いします……このまま精子、中に出してください♡

お`おお……っ♡`んおお……おっ♡  
処女を卒業したばかりの、新品ロリまんこにっ♪

んおおお♡`おっ、お`お……おっ♡  
中出し射精の快感、刻み込んでくださいっ

お`お……おっ、んお……♡おおっ♡  
私のおまんこ、クソ雑魚すぎてえ♡  
またイッちやいそうになってるからあっ♪

おおおっ♡おっ、んおっ♡お`お♡  
最後は先輩の熱くてどろっどろの精子を  
子宮の奥までどくどく注いでっ♪

また、脳みそがぶっ壊れちゃうような  
すごい快感、おまんこに味わわせてくださいっ♡

お`おお……っ♡お`お、おっ、お`おっ♡んおおっ♡お`お……おっ、んお……♡おっ、んおっ♡

おっ、おお～……イク、もおイクっ♡  
先輩、キテ？中にください、精子い♪

お、んお……お、おおお……んお♡  
先輩みたいな優秀なおスに、二度と逆らえないように——お♡

んお おお……♡おおっ、お おっ♡  
わからせ中出し射精で、イかせてっ♡

おおっ、お おっ♡ おっ、お お♡  
お～イク、イクイク……先輩、イきましゅ♪  
出して、出して出して出して——お、んおおっ！！

おおっ、おおおおっ♡  
イイッ——ぐううううううっ！！

おっ……おおっ、お～……出てるう♪  
おまんこいっぱいにされちゃったあ♡

たくさん出してくれて、ありがとおございまふ♪  
もう二度と生意気なこと言わないので  
これからもずーっと私のおまんこ使ってくださいい……♡

お願いします……お願いしますう……♡

……遅いです。五分遅刻ですよ  
まったく、何度言えばわかるんですか？

先輩が遅刻すればその分、  
あなたのおちんぼを楽しめる時間が減ってしまうんですよ？

私がどれだけ先輩の生おちんぼで  
犯してもらうのを楽しみにしてるかは、  
わかっていますよね……？

はあ……もういいです  
とりあえず、その椅子に座ってください  
お喋りはおちんぼを挿れてからでもできますし

はあ♡もうおちんぼおつきくなってるう♪  
これならすぐにでも挿れられそうですね——お♡

んお……私のおまんこ、  
もうとろとろになってるの……わかります？

先輩が遅刻するから、待ちきれなくて  
オナニーで三回もイッちやったんですよ？

だから……忘れないで、くださいね？  
私のおまんこを満足させるのは、  
先輩の大事な役目……なんです、からあ……お、んおおっ♪

んお……おとおお～……はあ、最っ高お♡  
勝手に腰、動いてえ——お、んおおおっ♪

お` おお……っ♡おとおおっ♡` あ、おおっ……  
お` おっ♡おお、おとお……っ♡んお、お` おっ♡  
おおっ♡んお、` お……おおっ♡おお、おとお……っ♡  
んお、お` おっ♡` お、おとお……おおっ♡

もお……なんで先輩のおちんぽって  
こんなに気持ちいいんですかあ♪

お` おおっ♡` おっ、んお……おおっ♡  
私のおまんこ、えっちするたびにどんどんスケベになって♡  
先輩のおちんぽのこと、好きになってえ♡

おお、んおおっ♡んおっ……お` おっ♡  
もう私、これなしじゃ生きていけません♡

` んおおお……っ♡おお、お` お……♡  
先輩のおちんぽなしの人生なんて  
考えられなく、なっちゃいましたあっ♡

` おっ、お` お……おっ♡おっ、んおっ♡  
おお、はあ、お` おっ、おお……♡おおっ♡お` おっ♡  
お` おお……んっ、おおっ♡お` お、あ` ああ……♡  
` おっ、お` お……おっ♡おっ、お` お……おっ♡

あ～私、射精管理委員でほんとによかったあ♡

` お、お` お……♡おっ、お` お……♡  
こんな優秀でカッコいいおちんぽと  
好きなだけセックスしていいなんて……幸せすぎますう♪

おおっ♡んおお……♡お` お、おっ♡  
言っておきますけど、  
卒業するまで先輩のおちんぽはずーっと私が管理しますからね？

んお……おとおおっ♡おお……` んおっ♡  
委員会や先生には、  
『ガマンのできないダメおちんぽだ』と報告しておくので♪  
先輩のおちんぽはこれからも、私だけのものです♡

お` おっ♡` あ、おおっ……お` おっ♡  
射精管理の指導、ということにすれば  
どれだけえっちしても、バレませんし♡

おおおっ♡お` お、おおっ♡んおっ♡  
私のおまんこが満足するまで、いくらでも♪  
先輩のおちんぽとイチャつくことができます♡

` お、おおおっ♡んお、お` お……お♡  
精子も全部っ……私のおまんこに出してもらいますよ？

んおお……お` おおっ……んお、` おっ♡  
オナニーなんかで射精することは  
絶対許しませんからね——んむ、ちゅ♡

お` おっ……♡お` お、おっ♡ちゅ、ちゅう♡  
はあ、んあ……はあ♡んおおっ♡おおっ、お` おっ♡

んう、はあ……ちゅっ……ちゅう、れる♡

もう私、勉強も委員会もどうだっていいんです♡

おおおっ♡お` お、おっ♡  
んあ、ん……れろ……ちゅっ♡  
先輩のおちんぼとえっちできるなら、なんにもいりません♡

ん` お、おお……♡おおっ♡  
はあ、れろれろ……はあ……♡  
私なんて所詮、おまんこの欲望に逆らえない下等なメスなのでっ

おおおっ♡おおっ……おお♡  
れろ、れろ……ちゅ、れろ……♡  
優秀なおちんぼに服従して生きてくことが一番の幸せなので♪

お` お……おおっ、おおおっ♡  
はあ……んあ、ちゅう……ちゅ♡  
先輩が他のおまんこに浮気しちゃわないように  
一生懸命、ご奉仕しますね♡

おおっ、お` おっ♡おおっ♡  
はあ……れろお♡ん、はあ……♡  
性処理オナホとして、おちんぼの役に立ちますからっ

んおおおっ♡おっ、んおっ♡  
ちゅ、ちゅう……ん、ああっ……♡  
いっぱい、いっぱい……中出しどぴゅどぴゅしてくださいね♡

おおっ、お` おっ♡おおおっ♡  
ちゅ、ちゅう……んあ……はあ……れろお♡  
お` おおっ♡んおっ、お` お♡  
んあ、ちゅう……ちゅ……ちゅう……んあ♡

んお……どーしよ♡  
中出ししてもらうこと、想像したらあ——お♡  
おまんこが、イきたくなくてきちゃったあ♪

おおっ♡おお、おおおっ♡んおお♡  
え……先輩のおちんぼもですか？  
精子、出したくなってきましたか？

` おっ、お` お……！おお……んおお♡  
じゃ、このまま中で射精してもらいますけど、いいですね？

おっ、おっ♡あ～嬉しい♪  
中出し射精してもらえる……おまんこウズウズするう♡

んおおおっ♡お` おお……んっ、おおっ♡  
大好きなおちんぼの子種汁でえ  
赤ちゃんのお部屋いっぱいにしてもらえる♡

` お……お` おお……っ♡おっ……` お♡  
んお～、イきそお……先輩？もういいですか？

おまんこだけなんて、イヤですよ？  
おちんぼと一緒にイくのが、一番気持ちいいんですからっ

イッてる最中のおまんこに、どぴゅどぴゅ……してください  
中にください……精子、精子精子、精子いいっ♡

んおっ、` お、おおおっ♡おお、お` お♡

お、イクっ……きて、先輩♡  
おまんこ一緒に……お、んおおっ、お～イクっ♪

イクイクイク——おお♡  
イツ——ぐうううううううっ！！

おっ、おお～、おまんこ幸せ♡  
子宮で精子ごくごくしてるう……きもちよすぎて意識トビそお♪

おちんぼ中毒になっちゃったあ♡  
先輩の性処理おまんこにオトされちゃったあ♪  
しゅき……先輩、大しゅきい……お、んお……お♡